

# 広報

# いしかり

平成 22 年 10 月 発行 第 30 号  
石狩森林管理署 広報

## 遊々の森「かがやきの森」で森林学習

### 千歳市立泉沢小学校

9月24日、30日、10月5日の3日間にかけて、遊々の森で協定している千歳市立泉沢小学校「かがやきの森」で秋の部の森林学習を、石狩地域森林環境ふれあいセンターと協働で行いました。

今回は1、2年生は校庭でドングリ拾い、ハビロの床替え、3年生から6年生は、かがやきの森で枝打ちと6年生はカミネツコンの植樹を行いました。

1、2年生は、ハビロの実生苗を1人1人ビニールポットに土を入れて苗木を移植し、小さな苗木を大事に持つて、丁寧に土がこぼれないように手で固めていました。最後にハビロの正式名称のハクウンボクの名前を覚えてもらって、校庭で育てて来春どうなっているか観察することになりました。

3年生から6年生は学年ごとに枝打ちを実施し、枝打ちは昨年から行っており、ノコ

ギリを使うのも多少慣れた様子で、真剣に1本1本枝を切っていました。



作業

と催促されたり、造林地へ入るとき最初は、暗く歩きづらかったのが終わったあとは、「明るく歩きやすくなった」と喜んでいました。

6年生は、カミネツコンの作り方の説明を受けながら作成し、作成後、メッセージを書き入れ、ヤチダモの苗木を入れて、3人1組になってカミネツコンを丁

寧に植えていました。



昨年、6年生が作ったカミネツコンが残っているのを見て、「ダッポールがまだ残っている」と驚いていました。

春の部の5月より、かがやきの森の緑が多くなったと感じた児童もあり、少しづつではあります、台風被害跡地の変化を感じたようです。

かがやきの森での森林学習にも慣れてきたようで、来春以降は、集材路を利用した散策路を探検しながら、樹名板を設置するなど計画しています。

今般「かがやきの森」では初めて石狩地域森林環境ふれあいセンターと連携して取り組み、内容も充実し、今後同センターと協働で森林環境教育に取り組んでいきます。

(菊地森林ふれあい係長)

# 『北ガス緑の森』

## 植樹祭 開催！！



9月4日（土）晴天の中、千歳森林事務所内5335林班において、北海道ガスグループ社員及び関係者約270名の参加により植樹事業を実施しました。

この取り組みは平成22年8月9日に北海道ガス株式会社と石狩森林管理署との間で締結している、「社会貢献の森に関する協定」に基づき、協定面積約3.00haのうち、今回は約3.32haにアカエゾマツ・トドマツ・ヤチダモ・シラカバ・ミズナラ・カツラのポット苗、約2,900本を植樹しました。



カミネツコン作成中！！

参加者は苗木の運搬役・穴掘り役・植付け役などに担当を決めて分かれ、暑い中、慣れないクワ、剣先スコップで植えていきます。



何を書いているのかな？

今回は、親子を対象としたカミネツコン作りも実施し、作成後はカミネツコンにメッセージを書き入れ植樹し、参加者の方々は、植樹作業約1時間30分程度で終了しました。

北海道ガスグループは、これまで当署の奥定山溪、野幌、千歳地区で協定し社会貢献活動として植樹を継続的に行っており、森林再生技術研究所が森



記念撮影

林づくり活動をサポートしていきます。

（菊地森林ふれあい係長）



# 低コスト・高効率作業 システムの勉強会を開催

9月8日(水)、石狩森林管理署千歳森林事務所部内5388林班の生産事業現場で、関係職員及び請負事業体職員合わせて約40名が出席し、低コスト・高効率作業システムの現地勉強会を開催しました。



土場用地にて説明を受ける職員

開催に先立ち瀬戸口署長より、森林・林業再生プランについて、素材生産における低コスト高効率作業システムの今後の取組方向に

ついて、本日開催の勉強会の趣旨について等の話しがありました。引き続き業務第二課長より、石狩森林管理署の素材生産における低コスト高効率作業システムの取組は、基本的に全幹等で地曳きを行わない作業とすることが重要で、そのためには、路網密度を高めるための作業路を、壊れにくく伐開幅を狭くできる工法を採用することが必要と説明があ



林内に集積された材を搬出



搬出後の林内の様子

りました。

その後、瀧澤ベニヤ株式会社に協力いただき、実際に高性能林業機械を使用した作業により仕組みを勉強しました。

続いて場所を移動し、壊れにくい作業道の作設について、表土ブロック積工法の概略の説明があり、鬼頭木材工業株式会社に協力を頂き、実際に表土ブロック積工法により作業路を作設する状況を見学しました。

今後更に導入が進むこの作業システムについて、参加者による活発な意見交換がなされました。



盛り土強化を図るための伐根の活用状況

今年度は古平地区でも低コスト・高効率作業システムによる生産事業を予定しており、石狩署としては、平成22年度において年間生産の3割を目標に実施していく考えであり、今後も職場内において、情報の共有、各種取組の定着に向けて努力していく考えです。

(佐藤 業務第二課長)

## 林道及び作業道の 災害復旧について

7月29日、積丹町や古平町方面を中心に観測史上最多を記録する大雨が降り、多数の河川が氾濫するなどして各地では大きな被害がありました。

国有林内においてもこの大雨による被害があるか余市地区の森林官が中心となつて緊急調査を実施し、多数の林道及び作業道に被害が発生していることが判明しました。

被災規模が大きく、その路線を利用した事業の計画がある林道の6箇所については、災害復旧工事を実施すべく局と連携して対応しています。

災害要求基準に満たない林道や被災した作業道は、チャーターによる復旧を進めています。また、8月2日は石狩市厚田区で同様に観測史上最多を記録する大雨が降り、こちらも被害が多数発生しました。

厚田首席森林官を中心に被害



大雨で決壊した沖村川林道

調査を進め鋭意対応しています。近年、ゲリラ豪雨が各地で発生し、降雨量も常に観測史上を記録するようになりました。

暗渠工は10年確率雨量により設計していますが、近年の降雨量を考慮して見直していく必要があるのかもしれない。

また、呑口の整理や側溝の整備など、地道ではありますが日頃の維持管理の重要性も感じつつ限られた予算ではありますが優先度を考慮しつつ対応していきたいと思えます。

(佐藤 業務第二課長)

## 石狩湾新港地域

### 「秋季クリーン作戦」の実施について

石狩湾新港地域内における不法投棄された廃棄物が、新港工業団地内の道路周辺をはじめ、防風林内や河川敷地、海岸線沿いの広範囲に及んで自然景観を損なうなど、大きな問題となっております。

そのため、関係機関が連携して不法投棄された廃棄物の一斉撤去を行うことにより、地域内の環境保全に資することを目的に、例年春と秋の2回実施しています。

今回、秋のクリーン作戦は9月15日が実施日、朝から好天に恵まれた開会式を向かえることとなりました。

今回もすでに現場で実施している人を含めると、約400名の参加者で実施され、我々石狩署の職員13名は防風林を中心に実施しました。

今回は、防風林内に不法投棄された生活用品等の回収作業を行うことにし、ハイラックス2

台分のゴミを回収し作業を終了しましたが、今までも防風林への不法投棄は後を絶たず、来年はこのような事が無いことを願うばかりです。

今後、2回のクリーン作戦を実施し、石狩湾新港地域内の環境保全に努力していきたいと思つた1日でした。



不法投棄物を片付ける職員

(中山技術専門官)

## 体験林業を実施

### ～ ニッカウヰスキー ～

8月21日(土)、余市国有林3001よ林小班において、ニッカウヰスキー株式会社が枝打ち作業を実施しました。

この取組は、アサヒグループ傘下であるニッカウヰスキーもグループ企業が進める「水源地の森林活動」の一環として、所在する地域の森林を対象に、森林ボランティア活動を行うとともに林業を学ぶ機会として体験林業を行ったものです。

当日は、30度を超える天候の中、企業職員10名が参加、石狩森林管理署から流域管理調整官、余市首席森林官、積丹森林官の3名が出席し技術指導を行いました。

作業箇所は、昭和48年植栽のアカエゾマツの人工林0.25haで、参加者はほとんどが初めての者ばかりで、最初枝の多さに悪戦苦闘していましたが、徐々になれてきてだんだん手際が良くなり枝打ち作業も順調に進み予定していた分を終了。

皆さん大量の汗とともに充実感を味わいました。

企業側としては、今後も継続的に実施していきたいとのことで、次年度以降も実施できる場所等の提供をお願いしています。



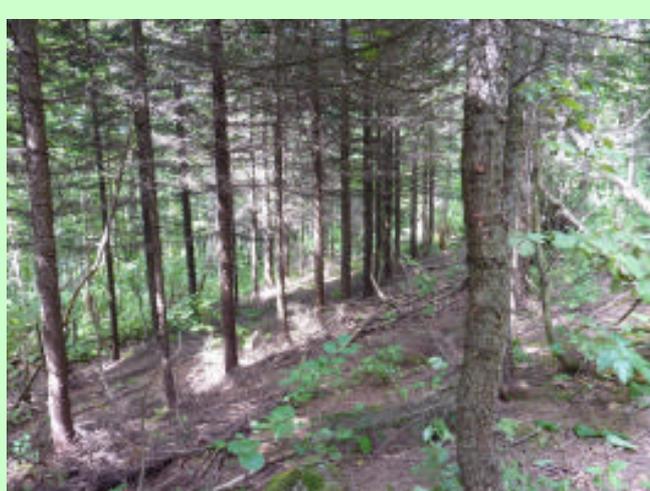
準備は万全



作業も手慣れてきました



女性職員も奮闘中



林内も明るくなりました  
(大江 流域管理調整官)

# コンテナ苗の

## 勉強会について



石田農園様

9月9日、長沼町でコンテナ苗の育苗に取り組んでいらつしやる(有)石田農園さんの苗畑において、局・札幌地区の署などの関係者が集まり秋晴れの中勉強会が開催されました。

当署からは署長、業務第二課長、森林技術専門官、森林育成係長が出席しました。

コンテナ苗は、次の長所が考えられ今後の普及に期待があります。

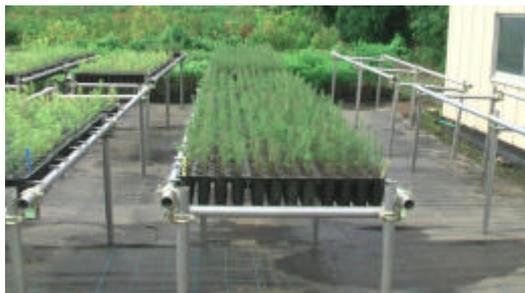
苗木の根巻きや根の変形がない。

・ポット苗では、ポットの内側の壁にまで伸びた根が壁に当たっても成長を止め



コンテナ苗について説明する佐藤森林整備第一課長補佐

ず、壁の内側に沿って伸び続け根の変形や根巻き生じますが、コンテナ苗では、内側にリブと呼ばれる高さ1mmの壁があることから、根の変形や根巻きは生じず、リブに沿って下方に直根が伸長します。



コンテナ苗育苗風景

また、コンテナの底には穴が開いており、コンテナ下部に到着した根は空気に触れると根切りされ、根巻きや根の

変形が防止されます。このことにより根の密度が高くなり、植栽後の根の伸長開始点となる根端が多数形成され、根鉢のしまった苗が育成されま

す。植栽時期を選ばない・作業が容易である。

・コンテナ苗は、根系と培地が一体化されており、土壤凍結がない限りはいつでも植えられます。また、根鉢と土壤の密着のみが得られればよく、裸苗のように丁寧な土壤耕耘、掘取り等



コンテナから出した育苗中の苗の根の状態

の作業は必ず必要とすると、この一かたの植栽で可能である。

参加者からは、価格や運搬の問題点など、今後本格導入される日に向けて積極的な意見交換が行われました。

(佐藤業務第二課長)

## 冬道の安全運転のために

10月6日(水)札幌運転

免許試験場で夏期冬道安全運転講習が行われ高橋・藤田の両名が参加しました。

当日は当署職員の他に民間企業の方や自動車学校の方、合わせて6名で行われ、最初に冬道の恐ろしさやコースでの運転の仕方等、簡単な座学をやり、そのあと冬道に似せたコースを走るという内容でした。

コース内は、アスファルトの上に水を撒いてわざとスピンしやすくしてあったり、轍になったコースがあり、実際に走ってみての感想を聞いたところ、冬道の感覚を体験できて良かったと言っていました。

これからのシーズン、雪の降る季節がやってきます。職員の皆さんやご家族の方々には、十分注意して、急の着く動作等しないで安全運転を心がけて運転しましょう。

(山本総務係長)

# 7月豪雨災害と 今後の予定について (治山課)



① 保全対象・被災状況：流出土砂による国道569号線の被災状況

7月29日に湿った空気が北海道付近に流れ込み短時間に局地的な豪雨に見舞われ、特に積丹地方では記録的な雨量となり（米国観測所において最大日雨量は8日16時から9日16時までの24時間で171ミリ、最大時間雨量は29ミリ）古平町では古平川の増水増水で道路の橋の橋げたが崩れ通行不能となるなど各地に被害が出ました。

当署管内では古平町の国有林の沢からから土砂が道道569号線に流れ込み被害を与えました。沢の中には不安定な土砂があり、今後の豪雨により再び道道へ被害を与える危険性があるため災害の申請を行いました。今後は財務省の災害査定後に対策工の実施予定となっております。

(鈴木治山課長)

いれ

## 新天地へ

1名の職員が、新たな職場へ異動となりました。これからも頑張ってください。

( )内は前職名、併任・事務取扱は省略しています

北海道森林管理局  
森林整備部 森林整備第一課  
課長補佐  
(総務課長)  
根田 祥一

転勤にあたりコメントをいただいておりますのでご紹介いたします。

石狩署の職員皆様へ

みなさんと一緒に仕事をすることを誇りにして、新しい職場で精一杯頑張る所存であります。今後ともご指導、ご鞭撻のほどよろしく願います。

根田 祥一



よろしく

お願いします。



10月1日付けで赴任した職員を紹介いたします。どうぞよろしく願います。

出身地 家族構成 趣味・特技 自己分析(四字熟語) なにか一言

総務課長

河崎 真佐志



河崎総務課長

旭川市 妻、

子供(男・中三、女・中一) バトミントン 一生懸命

バトミントン等を通じて、仕事以外のお付き合いもさせていただければと思います。



心の健康づくり講習会受講風景

## 安全会議 心の健康づくり講習会 開催される

午後からの心の健康づくりについては、年度当初から研修等の

9月27日に本署会議室で安全担当者会議（安全会議）と心の健康づくり講習会が開催されました。午前には次長から他局で発生した災害の状況の説明と、類似災害の防止の観点から、当署の安全対策等の定着化に向けた話がされ、そのあと応急手当のビデオ上映、

実施計画として予定されていたもので、北海道カウンセリಂಗ研究会に講師の派遣を依頼、元OBの心理カウンセラー 後藤誠一氏 産業カウンセラー 藤原 育氏に来ていただきメンタルヘルスについての講義を受けました。中でも、心の病気には色々種類があり、他人が気づいてあげることが大切との話が印象的でした。

（山本総務係長）

### 衛生講話で 近年の医学を学ぶ

平成22年度石狩森林管理署労働衛生週間の取組みとして、10月4日本署会議室で衛生講話が行われました。

当日は、次長から内臓脂肪とメタボリックシンドロームについての講義があり、内臓脂肪を減らすにはウォーキングがオススメとの話がありました。

続いて大腸がんと糖尿病のビデオ上映、午後から講師に当署の産業医である羽二生 輝樹先生を招き、医学知識あれこれについてパワーポイントを見なが

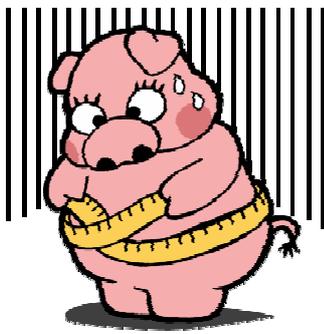
ら、近年の医学について問いかけ形式にして講義がなされました。



皆さん真剣です!!

知っていると知っているでも意外と間違っていたり、また、初めて知ることも数多くあつて、医学の知識や常識を知る上で大変有意義な講義でした。

（山本総務係長）



## 編集後記

記録的な暑い夏が過ぎ、うそのように過ぎやすい季節が続いている。間もなく冬將軍が駆け足でやってきて、銀色のマントですべてを被いつくすのだから、その下では密かに息づき、芽吹き準備をしている草花がいる。

まことに趣のある一年を何気なく繰り返しているが、地球温暖化により少しずつ確実に変化しているものもある。

将来、北海道が日本一の米どころとなり、山々の木々は、杉、ヒノキ、ブナに取って代わる。北海道固有の高山植物は北上を遮られ絶滅し、最強の外来植物が我が物顔ではびこる。冬季スポーツを楽しむための海外旅行がステータスとなり、庭には人口降雪機が・・・果たして森林が救世主となるのかは、どうやらこれからの森林整備にかかっているようで、孫子の代に遺恨を残さないよう取組みたい（次長）

（表題写真提供 伊藤札幌森林官）

石狩森林管理署広報委員会

委員長 次長

委員 総務課長

流域管理調整官

総務係長

事務局 森林ふれあい係

住所 〒064-0809

札幌市中央区

南9条西23丁目1